

Sports Net

ちば 2018年11月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture
2018年11月1日

「スポーツは平和とともに」

新日本スポーツ連盟千葉県連盟

〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17

Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454

URL http://sports.geocities.jp/njsf_chiba

E-mail njsf1970chiba@gmail.com

発行人 園川 峰紀

通巻 199号

激しく激しく。最高の盛り上がりで

～～第54回スポーツ祭典 バレーボール千葉県大会～～

第54回 秋のスポーツ祭典 バレーボール千葉県大会が9月30日（日）及び10月7日（日）に千葉県総合運動場体育館にて開催されました。

この大会は、11月中旬に催されます全国大会への出場権が掛る大事な大会でもあります。



今回は、女子の参加チームが1チームと言う事から男子の部のみの開催となりました。

9月30日（日）の予選リーグには、千葉県全域から10チームの参加があり、どのチームも過去の大会では上位にまで勝ち進んだ実績のある強豪チームが集まりました。

今回の予選リーグ戦は、10月7日に行われます決勝トーナメントへのシード決めリーグ戦となります。

参加10チームを抽選によりA、B、Cの3つのリーグに振り分けます。

各々のリーグの1位がAシードとなり初戦は免除となります。

2位、3位、4位のチームがそれぞれBシード、Cシードとしてトーナメント初戦を戦います。

この決勝トーナメントは、Aコート5チーム、Bコート5チーム分けられ、各コート上位2チームが、千葉県代表として全国大会に推薦されます。

大会は、AリーグLV1とCompareの試合から

スタートしました。

いよいよ決勝トーナメントでの好位置を得る為には負けられない試合が始まります。

朝9時から午後5時まで熱戦は続けられて行きました。

その結果、Aリーグは、1位千葉ゼルバ、2位LV1、3位Compare、Bリーグは、1位ROAR、2位KTAG、3位松戸ダイヤモンド、そしてCリーグでは1位ZOO、2位Andromeda3位SHONAN、4位勝浦倶楽部となり、各チームは成績に合わせて決勝トーナメント表に振り分けられました。

KTAGのみなさん



10月7日に行われた決勝トーナメント戦は、第1試合で予選4位のSHONANが予選2位のLV1を破ると言う波乱から始まり、各試合とも接戦に次ぐ接戦と

最高の盛り上がりで大会が進んで行きました。

その結果、激戦を勝ち抜き決勝に進んだのは、Aコートでは、1回戦で勝浦倶楽部に辛勝したKTAGに接戦で勝ち抜いた千葉ゼルバと予選リーグ2位Andromedaにフルセットで勝った松戸ダイヤモンドが当たることになりました。

また、Bコートでは初戦LV1との番狂わせ

松戸ダイヤモンドのみなさん



を起こしたSHONANに余裕勝ちをしたZOOと予選3位のCompareにこれまた予選1位の實力を見せつけたROARが対戦する事となりました。

各コートの決勝戦は、Aコートでは千葉ゼルバが試合の流れに上手く乗って松戸ダイヤモンドに



主導権を与えず1位となりました。

Bコートでは、予選リーグ1位同士のZ

OOと ROARが1ポイントを争う大接戦となりましたが、少ないチャンスをものにしたROARが勝ちBコート1位となりました。

この各コートの1位、2位チームが県代表として11月10、11日に新潟県で催されます全国大会に推薦される事となりました。

また、先の関東大会ブロックコート優勝の八街排球会、清球会を含め、県勢で6チームが全



国大会への出場権を得る事が出来ました。

女子の部は、昨年全国優勝を果たした健友会と関東大会ブロック優勝のFlap及び千葉県推薦

のARMYの3チームが、全国大会に出場する事となりました。



今大会も含め、千葉県勢は関東大会の推薦も含め男子6チーム、女子3チームが全国大会へのキップを手にする事が出来ました。

この事は、関東における千葉県のバレーボールのレベルの高さはもちろんの事、県内各有力チームを含め県内の新スポーツ連盟への関心の深



さが伺える事にもなりました。

また、大会運営に関しても各チームともコート設営、試合進行などから撤収作業まで率先して協力をして頂き、大会役員も各チームや選手方々の質の高さに驚いた程でした。

最後に、代表になられました各代表チームにおかれましては、全国大会では千葉県代表として日ごろの實力を遺憾なく発揮されて県勢が上位を占められる事を期待して今回の大会報告を終えさせていただきます。

千葉県バレーボール協議会 会長 吉川 明

緊急告知

事務所業務が一時休止となります

2018年11月14日(水)から16日(金)

千葉県連盟事務所(穴川3-1-17 黒川ビル2F)の改装工事実施のため、事務所業務が休止となります。

電話・FAX等の連絡が取れなくなりますのでご注意ください。
メールにつきましては、即答できませんが返信は可能です。
どうしても連絡を取りたい場合は、金子事務局長090(2324)8867までご連絡ください。

水郷佐原の小江戸巡り

千葉県ウォーキング協議会

香取市の佐原は現在「伊能忠敬没後200年記念」と「日本遺産認定「江戸を感じる街並み」と「ユネスコ無形文化遺産登録の佐原の山車行事」を合わせて盛り上がり中。

10月26日、10月例会として「水郷佐原の小江戸巡り」に出かけました。

まずは香取神宮参拝。本殿は元禄13年、徳川幕府によって造営され、国の重要文化財に指定。屋根は檜皮葺（ひわたぶき）、黒漆を基調とした極彩色で装飾されています。



香取神宮

表参道を歩き、巨大鳥居の前で記念撮影。

「鳥居は真ん中とお手はだめよ。そこは神様が通るところだから。」などと注意されて杉林の参道を進み「総門」へ。

「桜門」を通過して「拝殿」に進みました。香取神宮は拝殿と「本殿」が繋がっていて珍しい作りになっているとお店の人から説明を受けました。

折り返しは自然豊かな旧参道を下って駐車場へ出て、次の利根川サイクリングロードに向かいました。

利根川「川の駅・道の駅」下の河原には既に鴨・バン・白鳥が飛来していて、楽しい雰囲気醸し出していました。

弁当を食べた後は、白鳥を見ながらの利根川土手散策。

次はいよいよ、重要伝統的建造物群保存地区の散策。



白鳥を見ながら散策

江戸時代、小野川兩岸とその周辺には川岸問屋や醸造の商家が軒を連ねていて、その景観が今でも保存されています。

安政2年建築「中村屋商店」天保3年建築「正上（油屋）」天保年間創業「馬場本店酒造」寛政10年建築「旧油惣商店」など数々の伝統的な建築物が保存されています。



昔を思わせる船着場

街並みの中心を流れる小野川には、江戸時代、江戸まで運んだ酒、醤油、米などを船に乗せるための船着き場がたくさん残されています。

今では「小江戸さわら舟めぐり」の船着き場に使われています。

その一角に伊能忠敬旧宅、伊能忠敬記念館があります。伊能忠敬は日本で初めて実測による全国地図を作りました。

記念館にはその地図と宇宙から撮影した日本地図が展示されています。その正確さにはびっくりさせられます。



「この一歩から」…なるほど

どのようにして測量して地図に著したかがわかる展示がなされています。緯度経度を天体観測によって計測した様子が分かり、江戸時代の文化には驚かされます。

合計九千歩のウォーキングでした。

(事務局 日野 記)

常任理事会報告

10月22日(月)事務所にて第8回常任理事会を開催しました。9月26日から10月22日までの主な取り組みは次の通りでした。

(報告)

ウォーキング 仙台・松島で全国ウォーキング開催
バレーボール スポーツ祭典・バレーボール大会

(9月30日・10月7日)

テニス 祭典・チーム対抗(9月30日) 鈴木杯大会
(10月7・21日)

サッカー 年間リーグ(10月14日)

野 球 リーグ戦決勝(10月7日)

トーナメント戦(10月7・14・21日)

スキー 役員会(10月8日)

スキー祭典の案内ビラ完成

2万枚をこれから発送する予定

(協議事項)



1. 事務所改装にあたって、大家さんとの話し合いを進めてきました。今後の家賃等は基本的には現状のまま。契約期間は3年となり、駐車場は1台分のスペースを確保することになりました。

11月5日(月)から改装にあたり隣の部屋に荷物を移動することになります。

改装が終わるまで事務所が使えないので連絡方法などをホームページに掲載しますので参照してください。

2. 千葉県・千葉市への署名活動が続いていますが、500筆を目指しています。今一步の協力をお願いします。

3. 11月4日の陸上大会の準備の確認をしました。来年度から中・長距離走の大会になります。

(常任理事 日野 記)

スポーツアラカルト

討論会に参加して考えたこと

秋本信孝(理事)

去る10月13日東京で、「私たちの声で変えていこう!あるべきオリンピックに向かって」と題したオリパラ都民の会第8回提言討論会が行われた。

田原淳子教授(国土舘大学)は「ユネスコとIOCの憲章から見る2020五輪の意義と課題」と題して報告し、嘉納治五郎が中心になり1940年の五輪誘致に成功したが、日中戦争を理由に東京大会を返上(ヘルシンキが代替したが第2次世界大戦で中止)、1964年の大会誘致の理由は戦災からの復興を掲げ都市計画の推進にあった。

2020オリ・パラを2年後に控えた今日、クーベルタンが大会期間中の停戦(エケケイリア)を含む古代五輪を復活させ第1回アテネ大会(1896年)を実施したことに学びたい。「そのけそのけ五輪が通る」の考えは止めてもらおう。

既に2年を切ってしまったが、今からでも大会から大会までの4年間(オリンピアドと言う)を



「五輪の本質的価値」の普及・宣伝に充てて欲しい。

それは ①エクセレンス(Excellence:卓越)ベストを尽くす、勝利至上主義を否定 ②リスペクト(Respect:敬意/尊重)互いに敬意を払い、フェアプレー精神を育む ③フレンドシップ(Friendship:友情)対戦相手との交流は人と人を結びつけ、相互理解を深めるのである。これは競技者だけでなく、観衆にも求められるものである。

オリンピズムの基本原則には ①オリンピズムはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するものである ②オリンピズムの目的は…平和の社会の推進をめざすために、人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てることである ③スポーツをすることは人権の1つである」等7項目が定められている。

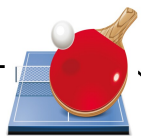
観衆としての私たちも心したいものである。

和食昭夫氏と大野晃氏も討論に立った。フロアからも積極的発言があった。

クラブ紹介

千葉THINK

卓球



- ①
クラブ（チーム）名 千葉THINK
②代表者 佐藤 賢一
③チームの概要（名前の由来・チームの特徴・練習日程・人数等）

千葉THINKは考える卓球をしようと名付けられました。



メンバー募集中です

THINKとして固定した練習場がないため、個々に練習していますが、試合の時には団結力があるチームです。

現在男子は6名、女子も6名登録させてもらっています。

男子は若手チームで全国大会を目指して日々練習に励んでいます。女子は皆、年齢はベテランになってきましたが、怪我や大きな病気もなく当初よりメンバーは替わらず続いています。

これからも試合に参加し、刺激を受けながら上を目指し「継続は力なり」をモットーに長く続けていきたいと思ひます。

④クラブのアピール（2017年度の抱負等）

健康に気をつけ、怪我の無いよう、男女ともに全国大会を目指し頑張りたと思ひます。

⑤その他（スポーツに関する情報・スポーツ連盟に期待すること等）

連盟の方々には大変お世話になっており感謝いたしてあります。

これからもよろしくお願ひいたします。

参加者募集 冬季オープン卓球大会

2W3S（4～5名）による、男女別団体戦を行います。奮ってご参加ください。

とき：2019年1月27日（日）

会場：千葉市花見川区花島体育館

申込先：新日本スポーツ連盟千葉県連盟（金子）043(287)7353

署名にご協力ください

スポーツ予算増額を求める要請署名

毎年11月の対県・12月の対千葉市要請に向けて現在スポーツ連盟では署名運動に取り組んでいます
目標は、対県・対市ともそれぞれ500筆で、10月25日現在それぞれ320筆余りとなっています。

この間、民主団体に郵送で書名簿を届けて回収したり、テニスや野球などの大会会場で参加者の皆さんに呼びかけています。目標を達成する為には理事の皆さんばかりでなく会員の皆さんのご協力が不可欠です。

この署名運動はスポーツ権を謳ったスポーツ基本法の具体化行動として2012年から毎年取り組んでおり、対県・対市要請に際し担当者に手渡しています。

併せて皆さんからお聞きした施設改善など要求も現場からの声として要求書にまとめ窓口伝えてあります。



SPORTS CALENDAR

11月

- 11月 4日 (日) 野球協議会トーナメント戦
祭典・陸上競技大会
鈴木杯テニス大会
- 11日 (日) 野球協議会トーナメント戦
- 16日 (金) ウォーキング例会
- 18日 (日) 野球協議会トーナメント戦
サッカー協議会リーグ戦
ミックスバレーボール交流大会
- 23日 (金) 野球協議会トーナメント戦
鈴木杯テニス大会
- 25日 (日) 野球協議会トーナメント戦
鈴木杯テニス大会



12月



- 12月 2日 (日) 野球協議会トーナメント戦・決勝
鈴木杯テニス大会
サッカー協議会リーグ戦
- 9日 (日) 鈴木杯テニス大会 (チーム対抗)
- 16日 (日) 検見川クロスカントリー大会
サッカー協議会リーグ戦
- 21日 (金) ウォーキングクラブ例会
- 22日 (土) 冬季バドミントン大会
- 23日 (日) 鈴木杯テニス・シニア女子テニス大会
- 24日 (休) 加盟杯卓球大会

～～スポーツ施設の充実を、スポーツが気軽にできる環境を～～

体育の日に改めて思う

今年も「体育の日」に各地でいろんなスポーツイベントが行われました。

オリンピックを招待してのスポーツイベントが都内で行われた報道では、日頃はあまり体を動かしていない親御さんたちと子供さん達が和気藹々とした中で汗を流していました。

一見ほほえましいショットに見えますが、働き盛り・子育て真っ最中の人たちにとっては、忙しすぎる日常はスポーツ活動とは縁遠いのが一般的ではないでしょうか？

常日頃スポーツ活動に慣れ親しんでおいでの連盟会員の皆さんにとっては、ピンとこないかもしれませんが、先に挙げた体育の日の報道の裏側からは、日頃はスポーツをやりたくてもなかなかできない現状が垣間見えます。

体育の日を機会にスポーツをやってみたと考えている人も大勢おいでになると思いますが、はたしそのような環境が整っているかどうか？スポーツ庁の調査でも過去1年で運動・スポーツを行っていない人は凡4分の

1、できない理由は仕事・家事が忙しいが一番高い割合を占めています。これは、身近なところに気軽に使えるスポーツ施設が少ないことが要因の一つに挙げられます。また、スポーツを楽しむ時間がとれないほどの長時間労働、低賃金なども指摘されています。

本来国や自治体の予算で充実させなければならないスポーツ施設であるにも関わらず民間に任せる、正に国や自治体の姿勢が問われています。スポーツを発展普及させるには条件整備が必須です。その為にも現在連盟が取り組んでいます「スポーツ予算の充溢を求める署名活動」をこれからも進める必要があります。更に、2018年のスポーツ界は不祥事ばかりが目立ち、スポーツの健全な発展を図るべきだという思いを改めて感じました。

ところで「体育の日」も2020年から「スポーツの日」に変更になるんですね！いかにも教育や体育となると上から目線での感覚があります。

スポーツの語源は遊び心にあるともいいますので元々の意味にやっとなり帰る事になるのではうね。



理事長の独り言